



岐阜市

議会だより

第81号

令和6年
4月25日発行



令和6年3月25日に
沼津・初山保育所、
27日に渡良保育所の
閉所式が行われました。



【主な内容】

1～2月第2回会議で決めたこと… 2
令和6年度当初予算 …… 4
委員会レポート …… 9

一般質問(8人が登壇) …… 11
市民の声 …… 15
行政視察報告 …… 16
議会だよりクイズ …… 18

議会の情報を発信中!

Facebook



1月～2月第2回会議で決めたこと

1月～2月第2回会議で決まった主な事業を紹介します。

◆初山漁港（初瀬地区）漁村再生工事（1工区）請負契約の変更に ついて

初山漁港（初瀬地区）漁村再生工事（1工区）において、床堀作業船の機種変更に伴う回航費の追加等により、下記のとおり契約変更を行う。

変更後契約金額 2億 918万4,800円
（現契約金額） 1億9,402万5,700円
契約の相手方 壱岐土木工業㈱
代表取締役 山内 史仁



◆壱岐市自治基本条例の一部改正について

平成30年12月に施行された壱岐市自治基本条例について、同条例第30条の規定に基づき、条例の見直し・検証作業を行うとともに、各地区・各種団体の代表、市民公募などにより構成された壱岐市自治基本条例審議会からの答申を踏まえ、所要の改正を行う。

◆「壱岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」ならびに 「壱岐市長、副市長及び教育長の給与に関する条例」の一部改正について

市議会議員の報酬月額の改定ならびに市長、副市長、教育長の給料月額の改定について、所要の改正を行う。

◆人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了に伴い、田山 忠彦 氏（芦辺町）の再任と、現委員の退任に伴い、坂本 幸子 氏（芦辺町）の推薦を了承した。

審議結果をP8の「議案と審議結果一覧表」に示しています。

令和5年度 補正予算

一般会計の1～2月第2回補正予算額計	△7046万3千円
特別会計の1～2月第2回補正予算額計	△1,045万1千円
一般会計+特別会計補正後の予算額合計	339億8,218万6千円

○令和5年度各会計予算一覧

（単位：千円）

会 計 名	現計予算額	1月補正予算額	2月補正予算額	2月第2回補正予算額	補正後予算額合計
一 般 会 計	25,473,064	200,100	163,937	△434,500	25,402,601
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	3,592,040		△415	3,591,625
	後 期 高 齢 者 医 療	400,778		△6,963	393,815
	介 護 保 険	3,845,256		11,196	3,856,452
	下 水 道	464,461		△14,269	450,192
	三 島 航 路	125,582			125,582
	農 業 機 械 銀 行	161,919			161,919
	合 計	8,590,036		△10,451	8,579,585
一般会計・特別会計の合計	34,063,100	200,100	163,937	△444,951	33,982,186

○企業会計

（単位：千円）

会 計 名	内 訳	現計予算額	1月補正予算額	2月補正予算額	2月第2回補正予算額	補正予算額
水道事業会計	収益的収入	748,970			860	749,830
	収益的支出	896,838				896,838
	資本的収入	309,148				309,148
	資本的支出	477,754				477,754

どんな予算のあと?

2月補正予算から

低所得世帯生活支援給付金事業(市民福祉課)

1億6,094万5千円

増額



キク

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、エネルギー・食品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者への支援として、令和5年12月1日に壱岐市内に住所を有する世帯のうち、低所得世帯(但し、住民税均等割が課税されている者の扶養親族等のみで構成される世帯を除く)に対し、給付金を支給する。

●事業内容

○住民税均等割のみ課税世帯臨時給付金

対象：令和5年度住民税均等割のみ課税世帯(1,200世帯)

給付額：1世帯あたり10万円 (10万円×1,200世帯=1億2,000万円)

○低所得者支援事業(こども加算分)

対象：令和5年度住民税均等非課税又は均等割のみ課税世帯で18歳以下の児童がいる子育て世帯(児童750人)

給付額：児童1人あたり5万円 (5万円×750人=3,750万円)

○事務費 344万5千円

上記の対象と思われる世帯を抽出し3月中に通知。申請書等により対象要件や振込口座を確認後、給付を実施。

2月第2回補正予算から

肉用牛経営緊急支援事業(農林課)

771万5千円

増額

物価高騰に起因した肉用子牛価格の急激な下落により和子牛生産者臨時経営支援事業(国)が実施され和子牛生産者臨時経営交付金発動基準(60万円)及び肉用子牛生産者補給金(55万6千円)を下回った場合、国の支援交付金の対象(3/4)とならない残額について長崎県と同額を支援し経営の安定を図る。

●事業内容

当初、国の支援が12月の予定であったが3月まで延長となったため国の支援交付金の対象(3/4)とならない残額について長崎県と同額を支援し経営の安定を図る。

・国事業の発動基準価格と九州ブロック平均価格との差額1/8を補助

○平均価格が発動基準を下回った場合(55万6千円～60万円)

第1四半期 766頭×5,500円=421万3千円・・・①

○九州ブロック平均価格が全国平均価格を下回った場合(43万9千円～55万6千円) 円

第1四半期 766頭×4,500円=344万7千円・・・②

①+②=766万円・・・③

○付帯事業費(農家への振込手数料)

110円×500件=5万5千円・・・④

事業費計 ③+④=771万5千円 増

令和6年度当初予算

総額 318億1,779万円 (対前年度当初予算比 2.1%減)

■ 一般会計 238億6,500万円
■ 特別会計 79億5,279万円

- ・国民健康保険事業……………34億7,820万4千円
- ・後期高齢者医療事業……………4億4,910万7千円
- ・介護保険事業……………37億5,214万6千円
- ・三島航路事業……………1億2,632万6千円
- ・農業機械銀行……………1億4,700万7千円



ユウ

■ 企業会計・水道事業会計

収益的收入…7億9,651万9千円
収益的支出…8億8,094万8千円
資本的收入…2億4,376万4千円
資本的支出…4億6,724万4千円

下水道事業会計

収益的收入…4億 675万8千円
収益的支出…4億 571万4千円
資本的收入…1億2,195万1千円
資本的支出…1億8,631万1千円

私たちの暮らしに身近な事業に注目

★まちづくり協議会費（SDGs未来課）

事業費 9,578万円（うち過疎対策事業債2,560万円、デジタル田園都市国家構想交付金73万6千円ほか）

事業概要 地域の特性や実情に合った魅力あるまちづくりの実現に向けて、沓崎市自治基本条例に基づく、コミュニティ活動を推進するための新たな組織を設立し、地域住民の福祉の増進、連携の強化及び市とまちづくり協議会との協働によるまちづくりを推進する。

- ①集落支援員設置業務委託 5,780万円
- ②まちづくり交付金 3,204万2千円
- ③その他 593万8千円

★本土通院等航路運賃支援事業（総務課）

事業費 1,400万円（うち過疎対策事業債1,120万円）

事業概要 令和5年6月に「長崎県離島地域交流促進基盤強化事業費補助金」の期間が終了したことに伴い、従前の割引率を継続するための支援を実施する。

●本土通院等航路運賃支援事業負担金

基本運賃から国境離島負担金を除いて、利用者負担額が5割もしくは6割引の金額となるよう差額分を支援する。

①特定医療割引

【特定医療（指定難病）・特定疾患割引、小児慢性特定疾患医療割引、育成医療割引、高度・先進医療割引】

②後期高齢者割引

③学生割引

【就職活動割引、進学受験割引、グループ活動割引】

④身障者等運転自動車航送料割引

※①：基本運賃の6割引、②～④：基本運賃の5割引

★国境離島航路・航空路運賃軽減事業（総務課）

事業費 9,224万3千円

事業概要 有人国境離島法において、航路・航空路の運賃低廉化により島民の本土との交通手段の経済的負担を軽減し持続的な居住が可能となる環境の整備を図るため、国境離島航路航空路運賃軽減事業を行う。

●国境離島航路航空路運賃低廉化負担金

①航路分 7,988万2千円

②航空路分 1,161万1千円

③三島分 75万円

※負担割合：国55%、県22.5%、市22.5%

★離島交流中学生野球大会（政策企画課） 新規

事業費 4,692万円（うち離島活性化交付金2,096万円、ふるさと応援基金2,164万7千円）

事業概要 「国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会（通称：離島甲子園）」は、地理的環境から島外との交流機会の少ない全国の離島の中学生が一堂に会し、野球を通じて「島」と「島」の交流を図ることにより、新たな人間形成や健全な青少年の育成を促進することで、将来を通じた離島地域の振興に寄与することを目的として、平成20年度から開催されており、令和6年度の第15回大会は壱岐市で開催される。本市での開催は、平成25年度の第6回大会に続き2回目となる。

開催予定日：令和6年8月19日～22日

参加予定チーム：25チーム

試合会場：壱岐市ふれあい広場、大谷グラウンド、勝本ダム球場、青嶋公園

事業費：開催地負担金 4,192万円（離島活性化交付金：国1/2）

参加費：500万円（壱岐市選抜チーム 250万円×2チーム）

★ふるさと応援寄附金（商工振興課）

事業費 16億3,369万8千円（うちふるさと応援寄附金・基金14億8,554万5千円）

事業概要 ふるさと応援寄附者への返礼品の贈呈、民間ポータルサイトの増強のほか寄付増額に向けたカタログ作成及び情報発信事業を実施する。なお、寄附金はふるさと応援基金に積立てを行う。

・目標額 10億円

★マイナンバーカード出張申請サポート事業（市民福祉課） 新規

事業費 982万1千円（うちマイナンバーカード交付事務費補助金982万1千円）

事業概要 壱岐市においてマイナンバーカードの交付率は令和6年1月末時点で84.2%。全国平均の78.0%以上ではあるが、高齢者等の申請困難者への申請機会を創設し、マイナンバーカードの普及を推進する。

●公民館等の地域に出向いてマイナンバーカード交付申請に係る申請書記入、写真撮影、申請書発送、オンライン申請への対応などの出張申請サポートを行う。

★医療的ケア児訪問型レスパイト事業（市民福祉課） 新規

事業費 144万円（うち医療的ケア児訪問型レスパイト事業費補助金72万円）

事業概要 重度の障害児及びその家族が、精神的・経済的負担の軽減により安定した日常生活を送れるように、常時特別な医療的ケアを必要とする18歳以下の在宅重症心身障害児に対して、指定訪問看護ステーションの利用に係る経費の助成を行う。

★出産祝金事業（いきいろ子ども未来課）

事業費 1,400万円（うち過疎地域持続的発展特別事業基金1,400万円）

事業概要 出産祝金を支給し、子育て世帯の経済的な負担を軽減することにより、少子化の抑制及び次世代を担う若者の定住・移住の推進を図る。

●市内に住所を有する者が出産し、その後、引き続き3年以上本市に居住する意思がある時、その出生児の保護者に出産祝金を支給する。

令和6年度予算額：1,400万円

第2子：600万円（60人） 第3子以降：800万円（40人）

★(仮称) 壱岐市こども計画策定業務（いきいろ子ども未来課） 新規

事業費 363万円

事業概要 現行の第2期子ども・子育て支援事業計画は、令和2年度から令和6年度までの5カ年を計画期間としており、令和6年度に計画期間の最終年度をむかえるため、令和6年度中に次期事業計画を策定する必要があること、また、今年度4月に施行されたこども基本法に基づき、子どもの貧困対策、子ども・若者育成支援、少子化対策等のこども施策を総合的に推進するため、これらを併せた(仮称) 壱岐市こども計画を策定する。

★芦辺港ターミナル整備事業（水産課）

事業費 1億1,510万円（うち過疎対策事業債1億1,510万円）

事業概要 芦辺港のフェリー乗り場とジェットfoil乗り場は、ターミナルが別に設けられており利便性が悪い状況である。今回、ジェットfoil用浮桟橋の整備等と併せて、ターミナルビル及びその周辺整備を実施することで、利用者の利便性向上及び地域経済の振興を図る。

★郷ノ浦港ターミナルビル改修事業（水産課）

事業費 8,007万1千円（うち過疎対策事業債7,920万円）

事業概要 現在、県が実施している郷ノ浦港のジェットfoil用浮桟橋の整備と併せて、慢性的な駐車場不足の解消を図るため、岸壁背後の駐車場をはじめ、郷ノ浦港駐車場の再編整備を推進し、利用者の利便性の向上及び地域経済の振興を図る。

★道路維持補修事業（建設課）

事業費 1億9,296万6千円（うち道路占用料470万円、合併振興基金5,552万6千円）

事業概要 市内の幹線および市民の生活道路の維持補修に努め、機能性・利便性・快適性の向上を図り、安全で安心な道路環境を提供する。

- ・市道維持修繕
- ・高所作業車借上（自治公民館、まちづくり協議会での高所伐採等）
- ・市道害虫駆除（蜂の巣等）
- ・市道維持補修工事 1級市道片原梅津線（排水整備）他14箇所
- ・市道維持補修材料費（自治公民館への生コン支給等）
- ・市道維持管理業務補助金（自治公民館の除草作業等）

★国民文化祭吉崎市実行委員会補助金（社会教育課） **新規**

事業費 893万3千円（うち文化芸術活動ブラッシュアップ事業補助金100万円）

事業概要 令和7年9月～11月に長崎県全域で開催される「第40回国民文化祭、第25回障害者芸術・文化祭～ながさきピース文化祭2025～」吉崎市会場の運営準備及びプレ事業開催に向けた必要経費を吉崎市実行委員会補助金として計上する。

●事業実施について、3つの専門部会（総合文化事業、食・文化交流事業、障害者芸術文化事業）を設立し吉崎市実行委員会承認を得た事業を令和6年度にプレ大会として実施する。

- ①事務局費 543万3千円
- ②総合文化事業 150万円
- ③食・文化交流事業 100万円
- ④障害者芸術文化事業 100万円

★吉崎市ふれあい広場施設修繕等事業（社会教育課） **新規**

事業費 1,063万円

事業概要 吉崎市ふれあい広場の施設・備品等については、塩害や経年劣化による老朽化が進んでいる。令和6年度には「第44回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会」や「第15回国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会」といった大規模な大会の会場となる予定であり、早急に修繕等を実施する。

- ①野球場バックネット裏観覧席ベンチ撤去・改修 194万7千円
- ②グラウンド整備用トラクター更新 868万3千円

★教育総務課新規事業 総額1億3,555万8千円

吉崎市内の小・中学校及び幼稚園施設において、安全で安心して学べる教育環境の整備充実を目的に、経年による老朽化や自然災害による劣化で修理が必要となった施設の改修等を計画的に実施する。

小学校施設整備事業 **新規**

事業費 3,431万8千円（うち学校施設環境改善交付金713万3千円ほか）

- 事業内容
- ①盈科小学校屋内運動場照明のLED化
 - ②盈科小学校特別教室（理科室及び音楽室）にエアコン設置
 - ③石田小学校特別教室（理科室及び音楽室）にエアコン設置 他

中学校施設整備事業 **新規**

事業費 6,829万1千円（うち学校施設環境改善交付金1,417万4千円ほか）

- 事業内容
- ①郷ノ浦中学校校舎屋上防水等の改修
 - ②勝本中学校屋内運動場照明のLED化
 - ③石田中学校屋内運動場照明のLED化
 - ④郷ノ浦中学校特別教室（理科室及び音楽室）にエアコン設置
 - ⑤勝本中学校特別教室（理科室及び音楽室）にエアコン設置
 - ⑥芦辺中学校特別教室（理科室及び音楽室）にエアコン設置
 - ⑦石田中学校特別教室（理科室及び音楽室）にエアコン設置 他

幼稚園施設整備事業 **新規**

事業費 3,294万9千円（うち学校施設環境改善交付金736万1千円ほか）

- 事業内容
- ①郷ノ浦幼稚園外壁等の改修
 - ②霞翠幼稚園リズム室にエアコン設置 他

議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
1月	報告第1号	令和4年度吉岐クリーンエネルギー株式会社に係る経営状況の報告について	—	1/16	報告済
	議案第1号	吉岐市手数料条例の一部改正について	省略	1/16	可決
	議案第2号	令和5年度吉岐市一般会計補正予算(第7号)	省略	1/16	可決
2月	議案第3号	初山漁港(初瀬地区)漁村再生工事(1工区)請負契約の変更について	省略	2/14	可決
	議案第4号	令和5年度吉岐市一般会計補正予算(第8号)	省略	2/14	可決
2月 第2回	議案第5号	吉岐市自治基本条例の一部改正について	産業建設	3/22	可決
	議案第6号	吉岐市監査委員条例の一部改正について	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第7号	吉岐市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第8号	吉岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第9号	吉岐市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第10号	吉岐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第11号	吉岐市介護保険条例の一部改正について	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第12号	吉岐市漁港管理条例の一部改正について	産業建設	3/22	可決
	議案第13号	吉岐市道路占用料徴収条例の一部改正について	産業建設	3/22	可決
	議案第14号	吉岐市消防関係手数料条例の一部改正について	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第15号	吉岐市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第16号	令和5年度吉岐市一般会計補正予算(第9号)	予算特別	3/22	可決
	議案第17号	令和5年度吉岐市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第18号	令和5年度吉岐市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第19号	令和5年度吉岐市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第20号	令和5年度吉岐市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	産業建設	3/22	可決
	議案第21号	令和5年度吉岐市水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	3/22	可決
	議案第22号	令和6年度吉岐市一般会計予算	予算特別	3/22	可決
	議案第23号	令和6年度吉岐市国民健康保険事業特別会計予算	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第24号	令和6年度吉岐市後期高齢者医療事業特別会計予算	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第25号	令和6年度吉岐市介護保険事業特別会計予算	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第26号	令和6年度吉岐市三島航路事業特別会計予算	総務文教厚生	3/22	可決
	議案第27号	令和6年度吉岐市農業機械銀行特別会計予算	産業建設	3/22	可決
	議案第28号	令和6年度吉岐市水道事業会計予算	産業建設	3/22	可決
	議案第29号	令和6年度吉岐市下水道事業会計予算	産業建設	3/22	可決
	議案第30号	損害賠償の額の決定について	省略	3/22	可決
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	3/22	了承
	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	3/22	了承

◎1月・2月第2回会議で賛否（賛成、反対）のあった議案

議案番号	樋口伊久磨	武原由里子	山崎欽秀	中原正博	山川忠久	植村圭司	清水修	土谷勇二	音嶋正吾	豊坂敏文	中田恭一	市山繁	赤木貴尚	賛成	反対	結果
議案第1号 壱岐市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	12	1	可決
議案第8号 壱岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	2	可決
議案第9号 壱岐市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	可決
議案第11号 壱岐市介護保険条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	可決
議案第22号 令和6年度壱岐市一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	可決
議案第23号 令和6年度壱岐市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	可決
議案第24号 令和6年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	可決
議案第25号 令和6年度壱岐市介護保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	可決

小金丸益明議員は議長のため採決には入りません。

議案第8号・議案第9号・議案第11号・議案第22号・議案第23号・議案第24号・議案第25号反対討論あり



委員会レポート



総務文教厚生常任委員会

2月第2回会議で付託された15議案については全て可決した。

【委員会意見】

議案第15号壱岐市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について、身近な場所での健康づくり・フレイル予防に、より取り組めるよう環境整備を積極的に進めること。

議案第23号令和6年度壱岐市国民健康保険事業特別会計予算について、健康寿命を延ばす事業を積極的に行い、保険税及び医療費の高騰抑制に努めること。



産業建設常任委員会

2月第2回会議で付託された8議案については全て可決した。



予算特別委員会

2月第2回会議で付託された2議案については原案のとおり可決した。





一般質問

8人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問議員自らが、原稿執筆したものです。

右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を聴くことができます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によって異なります。

※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。



山口 欽秀 議員

質問 沓岐交通初山線の
運休で地元への説明は

答 沓岐交通に依頼したが、実施されていない

山口 運休の影響はどう考えているのか。初山地区との協議はするのか。

総務部長 本年4月1日より、市営集合タクシー、オレンジバスが平日及び土曜日の運行を行うこととなる。オレンジバスをご利用いただきたい。毎月の集落支援員との協議等で意見を聴取する。

山口 昨年9月に160人の利用があっている。運休に伴う影響をしっかりとつかみ、対応を協議すべき。

初山・箱崎地区以外での今後の地域交通施策はどうなるのか。5年経て進展がないのはなぜか。

総務部長 コミュニティバス運行の要望がなかった。また、既存の交通事業者の民業圧迫とならないことが前提であり慎重な議論が必要。

山口 まちづくり協議会の支援員との懇談で要望があった。当面、高齢者へのタクシー利用の支援

が必要ではないか。

総務部長 100円で乗車できるバス乗車カードや民間の送迎の利用を。

山口 他市町村に合わせてタクシー利用の支援を求める。



安心して避難できる体制を

山口 西山断層において地震が起きたとき津波の被害が考えられる。避難計画も見直しが必要では。

総務部長 最高津波水位が7mとされていることで津波浸水想定は追加更新することで調整中。

山口 災害のための備蓄は大丈夫か。食料は75食しかなく、簡易トイレの備蓄はないがいいのか。

総務部長 支援協力協定を各団体・企業等で結んでおり、支援物資の提供がある。

山口 平時から備蓄が必要だ。避難所に一番必要なのはトイレ・キッチン・ベッドであるとするが。

総務部長 施設を有効活用しながら協議・研究していく。

山口 避難所となる小・中学校や公民館の洋式トイレの数を増やしてほしい。



植村 圭司 議員

質問 市長在任16年間を経て、今思うことは

答 将来を託す「基盤作り」が役目だった

植村 白川市長の4月勇退にあたり、今の気持ちを伺いたい。

市長 荻岐のためであれば何でもやるといった、「進取の気持ち」をよりどころとして取り組んできた。私の役目は、若い世代に荻岐の将来を託すための「基盤作り」だった。荻岐を日本の島の「モデル」にしたい、と考え続けた16年間だった。

植村 一番印象深いのは国境離島新法の成立。到底できないと思っていたら成立した。経緯は。

市長 議員立法なので全議員の賛成が必要だった。法案成立のため、あちこち走り回った。

植村 もうすぐ国境離島新法の法期限を迎える。実現させねば。

「地区防災計画」の策定推進を

植村 今年元日、能登半島地震で荻岐にも津波が来た。予期せぬ自然災害に備え、「地区防災計画」策定を推進しては。

総務部長 津波が来たらまず、高台への避難を。まちづくり協議会単位で避難訓練が実施されていることはあるが、地区防災計画の策定には至っていない。計画策定の推進はしている。出前講座等で話をしたい。

植村 大災害時は「公助」「自助」の対応が難しい。地域レベルの「共助」の充実を。

元寇750周年関連事業が必要

植村 今年は元寇文永の役から750年にあたる節目の年。関連事業で国内外に荻岐をアピールしては。

企画振興部長 モンゴル国チンギス市から姉妹都市提携の申し出があったが、まずは民間交流を進めていただき、今後の動向を注視しながら検討する。

植村 世界的な平和が脅かされている。荻岐とモンゴルの関係は意義深い。検討を願う。



武原 由里子 議員

質問 公益通報制度と公平委員会の機能の周知を

答 市報やホームページ、新規採用職員の研修等で広報している

武原 今年度の公益通報制度の利用実績は。

総務部長 昨年（2件）よりは多い。

武原 市職員が県の公平委員会へ苦情相談ができるが利用は。

総務部長 公平委員会の案件はない。苦情相談は庁内ハラスメント委員会等がある。

武原 庁外第三者委員会としての公平委員会の周知徹底を望む。

次に、離島留学の権利擁護のため、契約書のリーガルチェックが必要では。

教育長 事前見学时にこれまでの契約書を事前提示。これまで不都合は生じていない。

武原 次年度「いきっこ留学運営協議会」会長名で契約する前にリーガルチェックを。

「荻岐市まちづくり協議会推進計画」の見直しについて

武原 三島地区の集落支援員の増員と支援員の処

遇改善は。

総務部長 原島を中心に集落支援員の補助員配置のため予算措置をしている。

武原 地域の伝統文化存続のための事業は認められるか。

総務部長 地域の神社仏閣等の宗教的行事は政教分離の原則に基づき交付金は支出できない。

武原 地域の伝統文化を存続させ、まちづくり・次世代育成の観点からも認めるべきでは。

市長 祇園山笠は疫病退散の行事として市の補助金を支給。神社の祭りは鎮守の森と考え、法に触れない範囲で推進していきたい。

荻岐市ファミリーサポートセンター事業の見直しについて

武原 休日利用料金が最低時給よりも高い。補助が必要では。

市民部長 最低賃金と比較する類ではないが、利用者の負担軽減のため研究は続ける

武原 利用できる会員の条件とニーズ調査は。

市民部長 住民票がなくても市内在住者であれば事前登録し利用可能。



中原 正博 議員

質問 ふるさと納税について

答 視察等を行い研究していく

中原 今年1月に産業建設常任委員会で宮崎市へ行政視察に伺い、ふるさと納税寄付額が急激に伸びた要因等の説明を受けた。寄付額が伸びた要因は委託事業者の見直し、返礼品の魅力が伝わるホームページの作成、返礼品提供事業者との情報交換を重視したこと。壱岐市も寄付額は伸びているが、今後さらに寄付額を伸ばすための対策と担当職員の数はいくつでよいのか尋ねる。



企画振興部長 本市でも令和3年度から業務を外部委託、返礼品提供事業者を増やしたこと、定期便の導入、ポータルサイトを増やすなどの取組で寄付額は増えている。担当職員数については現在2名で、今後寄付額が増えていけば、職員数も増

やしていくことは考えられる。今後、寄付額を伸ばしている自治体、先進的な取組をしている自治体へ視察等を行い研究していく。

ライドシェアについて

中原 ライドシェアは一般のドライバーが自家用車を使い、有料で人を送迎すること。政府は今年の4月からこの制度を導入するとし、21の自治体が事業開始に向け検討をしている。本市においても過疎地域、高齢者など買い物難民と言われる方もいるためこの制度を導入してはと思うが、検討する考えはあるのか。

総務部長 本市がライドシェアの事業運営を開始すれば既存事業者の経営圧迫につながり、既存事業者との共存体制が構築できない限り自治体運営のライドシェアは難しい。

中原 既存事業者、公共交通機関との話し合い、安全面の確保、保険の適応など当然必要だが、検討の余地はあるのではないかと。

総務部長 今後タクシー事業者とも意見交換会をしていく。

中原 自治体によってその地域にあったやり方も様々で、本市にあったライドシェア導入を研究、検討していただきたい。



山川 忠久 議員

質問 狂犬病ワクチン接種について

答 広報に努める

山川 狂犬病ワクチンの接種について、市と飼い主がそれぞれ果たす役割は。

保健環境部長 市の役割としては、飼い主の登録に関わる事務手続きやワクチンの集団接種、周知活動など。飼い主は飼い犬の登録、ワクチン接種、死亡届の提出などが義務付けられている。



山川 事務手続きを休日でも対応可能とすれば改善につながるのでは。

保健環境部長 関係機関と協議を進める。

山川 野犬対策は。

保健環境部長 生息場所の把握に努め、罠を仕掛

けているが効果が上がっていない。引き続き、保健所とも連携し対策していく。

生活困窮者の救急医療について

山川 生活困窮者の健康についての、日頃の相談体制は。

保健環境部長 社会福祉協議会など関係機関と連携して相談体制を作っている。

山川 生活困窮者が休日に救急医療を受ける際の金銭的なサポートが簡素な手続きで行われるような体制にならないか。



市民部長 郷ノ浦庁舎の休日窓口で対応できることとなっているが、申請が必要となる。

山川 急を要する場面では患者とその家族、医療機関も負担が大きい。ぜひ、対応の迅速化を図ってもらいたい。



音嶋 正吾 議員

質問 安全・安心な老後
体制の維持は

答 介護職員の堅持に努める

音嶋 ①今後、介護者が増加する中、介護職員不足による崩壊の危機はないのか。②本市の高齢化率は2020年で38.7%、2030年では43.3%の予測。介護従事者の確保は可能か。③介護職員の業務は劣悪で報酬が全業種より極めて低い。関係機関への強い働き掛けが急務である。見解を質す。

保健環境部長 ①本市の介護サービスの職業の有効求人倍率はここ数年1倍前後で推移し、求職側と求人側のバランスが辛うじて維持されていることから、介護人材が大幅に不足している状況とまでは認識していない。職員の高齢化も現実問題であり、市民も健康寿命向上に努めていただきたい。②人材確保事業を推進しつつ、引き続き介護人材確保に努める。③さらなる、支援拡充が必要である。関係機関を通して国への働き掛け要望に努める。

時期を逸しつつある新・松永安左エ門記念館建設について

音嶋 令和3年6月8日「杵岐市文化財展示施設再編計画検討委員会」において記念館は拡充すべきとの方針を確認。令和7年に松永安左エ門生誕150年を迎える。子ども達へ夢と希望を抱かせる模範的人材である。

教育次長 令和7年度に解体・設計、8年度に敷地造成と建築に着手。令和9年度に完成予定である。



松永安左エ門記念館



市山 繁 議員

質問 国内離島航路運航の
高速船更新計画について

答 単独での更新は難しく、国・県・市の公的支援を

市山 近年の物価高騰により、離島航路運航事業者は高速船(ジェットフォイル)の更新について大きな壁に直面しており、早期の協議が必要である。運航事業者と地元自治体の6事業者は共通の課題である、公平性を持ち、連名で国への要望をされてはどうか。

市長 九州郵船(株)社長より「ジェットフォイルヴィーナスの建造時と比べ、現在は船価が高額であり、どの運航会社も単独での更新は難しく、国・県・市による一定の公的支援が必要であり、今後の公的支援の検討状況を踏まえて、具体的判断を行いたい。」と返答をいただいた。

市山 ジェットフォイルの更新計画について、運航事業者である九州郵船(株)が実施主体であり、自

社投資額を提示し、それを基準とし、次に国・県・市への支援要望を行うことが順序と思う。

市長 ジェットフォイル導入当時に比べ、建造費が大幅に高騰し航路事業者のみでジェットフォイルの更新を行うことは困難な状況にあることは理解しているが、ジェットフォイルの更新はあくまで航路事業者が実施主体であり、その決意がなければ前進はない。このことから先日、2月20日に杵岐市航路対策協議会を開催し要望書を提出した。



新しい乗り場に到着するジェットフォイルヴィーナス 2



清水 修 議員

質問 タブレット端末の活用での持ち帰りは**答** 校長の判断でできるように調整していきたい

清水 本市のICT教育の現状と課題について3点伺う。①市内小・中学校でのICT機器活用状況は。②更新時期を迎える電子黒板はどのようなものか。③端末の活用についての考えは。

教育長 ①電子黒板や実物投影機の使用状況は県立高校と同じくらいだが、タブレットの活用状況は格段に低い印象。現場を混乱させないよう活用を急がせなかったのは賢明。3年経過し活用の機運（情報や環境）が高まっている。②現場の意見を聴き、電子黒板より教室で使いやすいテレビ型を普通教室に1台設置。③ミライシードという学習支援ソフトを導入してどこでも学習できる環境にする。学習習慣が確立さ



れ効果的な活用ができるようになれば、タブレットの持ち帰りについても校長の判断でできるように調整していく。

不登校児童・生徒の支援について

清水 市内の不登校児童・生徒の現状から、教育支援教室「太陽」の機能を充実させようとの考えは。

教育長 不登校状態の児童・生徒の支援を行うのが教育支援教室であり、現在は教室にやって来る子どもの世話をする「待つ支援」が主であった。スタッフを増員することで教室に来ることのできない子どもや保護者への教育相談など「届ける支援」が可能になる。

まちづくり協議会への支援は

清水 まちづくり協議会への地域住民の参加意欲を高めるためにも拠点施設の充実は不可欠である。地域にある公共施設の利活用においてどの程度までが地元負担になるのか支援の考え方を伺う。

総務部長 統一的な判断でなく、その時々的事案ごとに協議（所管部署との協議等）して対応することになる。

市民の声

「議会だより第80号」
クイズ応募者よりいただいた
ご意見ご感想です。

議会だよりは
ぎ岐の事がよくわかり
goodです。(60歳)

ぎ岐の綺麗な
夜空を後世に残そ
う。青少年に綺麗
な星空が観れる
施設を！(70歳)

ぎ岐市の発展、
又住みやすい場
ににする為にいろ
んな取組をされて
いる事、知る事が
できました。プレ
ミアム付き商品
券は本当に助か
っています。(59歳)

新年早々、能登半島地震でびっくり、
わが街の事を考え直す機会になりました。
「市議会」皆様と近くなった「まち協」と協
力して勉強するきっかけになりました。高
齢者には「議会だより」もページによっては
字体が小さくて読みにくいです。(85歳)

転勤で来て2年目。まだまだ知らない
事ばかりなのでぎ岐の色々な事を知る
事ができ、楽しく拝読しております。(37歳)

沼津保育所閉所セレモニー

行政視察へ行ってきました

産業建設常任委員会（令和6年1月22日～1月24日）

■視察先：宮崎県宮崎市 ■調査事項：ふるさと納税の取組について

宮崎市のふるさと納税は、令和4年度に約56億円と2年前の令和2年度と比較すると約11倍もの伸びを見せており、本年度も目標の70億円を超え、寄附額を伸ばしている。

その要因は、①委託事業者の見直し、②返礼品の魅力が伝わるページ作成、③返礼品の追加、④委託事業者だけではなく返礼品提供事業者との積極的な情報交換を重視したことが奏功し、寄附金額の増額につながっている。

委員会の所見

令和2年度から1年掛けて職員の意識改革を行い、常にお客様目線で市場のニーズに沿った返礼品の準備をしてきた結果であり、本市でも学ぶべき点である。



■視察先：大分県杵築市 ■調査事項：観光行政について

重要伝統的建造物群保存地区に選定をされている北台・南台と国史跡に指定されている杵築城跡を中心としたまちづくりをし、観光客の誘客を行っている。

主な取組としては、①きものが似合う歴史的町並みに認定、②まち歩きクーポンの販売、③きもので体験プログラム、④グルメ・みやげ、⑤レンタルサイクル、⑥教育旅行の誘致、⑦地域観光資源のサステナブルな活用推進などがある。

委員会の所見

江戸時代の趣を色濃く残す城下町を後世につなげるために、いろいろな誘客策を考え、滞在型観光を目指してあるのがよく分かった。

本市でも、観光客に長期に滞在してもらえるような仕組みづくりが必要と感じた。



総務文教厚生常任委員会（令和6年1月31日～2月2日）

■視 察 先：高知県仁淀川町(NPO法人フレイルサポート仁淀川)

■調査事項：フレイル予防への取組について

健康に生活できる健康寿命を延ばし、自分らしい質の高い生活を送るため、住民が主体となったフレイル予防への取組が全国から注目されている。

フレイルチェックを中心としたフレイル予防活動を展開しており、「ハツラッツ」に参加することで、住民同士のつながりや行動変容が促進され、社会参加に繋がっている。

また、フレイルサポーターの養成にも力を注いでおり、一定の研修を受けると誰でもフレイルサポーターとして活動することが出来ることから、住民同士でフレイルチェックを行い、自分の地域で「集いの場」を立ち上げ、指導者としてフレイル予防の輪を広げるサポーターもいる。

「フレイル」とは、年齢とともに筋力や心身の働きが低下して、「要介護」状態に近づいてきた状態

「ハツラッツ」とは、仁淀川町で実践しているフレイル予防の取組で、高齢住民同士（サポーター）が励まし合いながら、お互いが活力を得る場であり、「フレイル予防3本柱（栄養、運動、社会性）」を、自らの心と身体を通して学び合う場



意見交換会報告

議会の政策提言機能強化等を目的に、常任委員会委員と市内の団体と意見交換をしました。

●総務文教厚生常任委員会と まちづくり協議会集落支援員

日 時：令和6年2月21日(水)

参加者：議会 総務文教厚生常任委員会委員
まちづくり協議会集落支援員

7名
13名

合計
20名

◆意見交換会の議題

— 今後のまちづくり協議会及び集落支援員の活動について —

- ① まちづくり協議会の予算（まちづくり交付金）について
- ② まちづくり協議会運営上の課題について
- ③ まちづくり協議会制度上の課題について
- ④ コミュニティバスの運行について

多岐に渡る貴重な意見を聞くことができ、各地域のまちづくり協議会及び集落支援員の活動における現状や課題等について認識を深めることができた。



●産業建設常任委員会と 壱岐市観光連盟

日 時：令和6年3月21日(木)

参加者：議会 産業建設常任委員会委員
壱岐市観光連盟 下条 正文会長 ほか

4名
12名

合計
16名

◆意見交換会の議題

- ① 観光客誘致施策について（特に教育旅行、合宿等へのJR並運賃の拡充など）
- ② 観光施設について
- ③ インバウンドの推進について
- ④ 入島税の導入について

上記4つのテーマについて、説明を受け、意見交換会を行い、観光業の現状や課題について認識を深めることができた。



クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆さんのご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



4町合併後平成17年当時の市議会（市議会も20周年）

Q1 第15回全国離島交流中学生
野球大会（離島甲子園）は
壱岐市での開催は○回目

Q2 総務文教厚生常任委員会が
行政視察で訪れたのは高知
県の○○○町

Q3 産業建設常任委員会は壱岐
市○○連盟と意見交換会を
開催

第80回クイズの答え

- ① 7
- ② プレミアム
- ③ 大分

第80回クイズの当選者

豊増 智子 様
西 満子 様
坂本 愛未 様
平田 節雄 様
横山 弘美 様

おめでとうございます！

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望など
お書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分を
お贈りします。（当選者の発表は次号に掲載）

《あて先》 〒811-5521

壱岐市勝本町西戸触182-5 壱岐市議会事務局宛

《しめきり》 令和6年5月31日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

今年度も市民の皆様にとって
良い年でありますよう、市議会
も努力をしていき
ます。今後ともよ
ろしく願いた
します。

中田 恭一



編集後記

議会広報特別委員会
委員長 樋口伊久磨
副委員長 清水 修
委員 山川 忠久
土谷 勇二
中田 恭一
市山 繁

お知らせ

壱岐市ホームページ

<https://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会の
インデックス（見出し）を検索すると、市長行
政報告及び議員の一般質問の音声を生で聴くこ
とができます。また市議会会議録は、議会事務
局・市役所郷ノ浦庁舎（総務課）・各庁舎（市民
生活班）・各図書館で閲覧できます。ご利用くだ
さい。



公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・
見舞い等の金品を送ることや、
暑中見舞い・年賀状などの挨拶
状や有料の広告は禁止されて
おります。

市民みなさまのご理解とご
協力をお願い申し上げます。

壱岐市議会議員一同

発行責任者 議長 小金丸益明
編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県壱岐市勝本町西戸触182-5

TEL : 0920-42-1114

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>

